

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和06年03月19日

計画の名称	安心・安全なみちづくり（第2期）（防災・安全）												
計画の期間	平成29年度～令和03年度（5年間）										重点配分対象の該当		
交付対象	さいたま市												
計画の目標	通学路などにおける歩行者・自転車の通行空間確保や住宅地における面的な交通安全対策の実施、適切な道路施設の維持管理及び防災も含めた住環境の改善を推進することで、誰もが安心・安全で通行できるみちづくりを目指す。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	3,589	A	3,588	B	0	C	1	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0.02	%

番号	計画的成果目標（定量的指標）	定量的指標の現況値及び目標値		
		定量的指標の定義及び算定式		
		当初現況値 (H29当初)	中間目標値 (H31末)	最終目標値 (H33末)
1	市内における平成24年から平成28年までの5年間における交通事故数の平均値に対して10%低減する。 対象期間内における市内の交通事故件数の低減率 (1 - (交通事故件数) / (H24からH28までの交通事故件数の平均値)) × 100	0%	5%	10%
2	広域ネットワークである埼玉県緊急輸送道路及び鉄道や高速道路を跨ぐ耐震補強対象橋梁の整備率の向上を図る。 対象橋梁の耐震補強の整備率 (完了橋梁数) / (対象橋梁数(44橋)) × 100	70%	80%	82%
3	大規模災害時に災害リスクが高いことが判明した地区住民に対し、住民自ら地区の災害リスクを周知できる人数の割合を向上させる。 災害リスクを周知できる人数の割合 (説明会等によって災害リスク情報を周知した世帯数) / (災害リスクが高い地区における全世帯数)	3%	%	47%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	○	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H29	H30	H31	R02	R03			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
道路事業	A01-001	道路	一般	さいたま市	直接	さいたま市	国道	修繕	(国)463号ほか舗装修繕	舗装修繕	さいたま市						390		策定済
	A01-002	道路	一般	さいたま市	直接	さいたま市	都道府県道	修繕	(主)さいたま川口線ほか舗装修繕	舗装修繕	さいたま市						1,560		策定済
	A01-003	道路	一般	さいたま市	直接	さいたま市	都道府県道	修繕	(主)川口上尾線・神明跨線橋	耐震補強	さいたま市						150		-
	A01-004	道路	一般	さいたま市	直接	さいたま市	都道府県道	修繕	(主)さいたま春日部線・加茂川橋	耐震補強	さいたま市						140		-
	A01-005	道路	一般	さいたま市	直接	さいたま市	都道府県道	修繕	(一)新方須賀さいたま線・永代橋	耐震補強	さいたま市						50		-
	A01-006	道路	一般	さいたま市	直接	さいたま市	市町村道	修繕	路面性状調査	路面性状調査	さいたま市						27		策定済

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H29	H30	H31	R02	R03			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
道路事業	A01-007	道路	一般	さいたま市	直接	さいたま市	国道	修繕	路面性状調査(補助国道)	路面性状調査	さいたま市						6		策定済
	A01-008	道路	一般	さいたま市	直接	さいたま市	市町村道	修繕	路面下空洞調査	路面下空洞調査	さいたま市						42		-
	A01-009	道路	一般	さいたま市	直接	さいたま市	国道	修繕	路面下空洞調査(補助国道)	路面下空洞調査	さいたま市						9		-
	A01-010	道路	一般	さいたま市	直接	さいたま市	都道府県道	修繕	道路照明施設点検	道路照明施設点検	さいたま市						120		-
	A01-011	道路	一般	さいたま市	直接	さいたま市	国道	修繕	道路照明施設点検(補助国道)	道路照明施設点検	さいたま市						30		-
	A01-012	道路	一般	さいたま市	直接	さいたま市	都道府県道	修繕	道路標識・道路情報板点検	道路付属物点検	さいたま市						6		-

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H29	H30	H31	R02	R03			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
道路事業	A01-013	道路	一般	さいたま市	直接	さいたま市	国道	修繕	道路標識・道路情報板点検(補助国道)	道路付属物点検	さいたま市						4	-	
	A01-014	道路	一般	さいたま市	直接	さいたま市	市町村道	交安	七夕通り	無電柱化	さいたま市						0	-	
	A01-015	道路	一般	さいたま市	直接	さいたま市	市町村道	交安	ゾーン30対策事業	区画線工等、28地区、A=100 Oha	さいたま市						0	-	
	A01-016	道路	一般	さいたま市	直接	さいたま市	市町村道	交安	自転車通行環境整備事業	区画線工等	さいたま市						116	-	
	A01-017	道路	一般	さいたま市	直接	さいたま市	市町村道	交安	(市)11057号線(東大宮)	バリアフリー	さいたま市						6	-	
	A01-018	道路	一般	さいたま市	直接	さいたま市	市町村道	交安	(市)11055号線(東大宮)	バリアフリー	さいたま市						10	-	
											小計						2,666		

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H29	H30	H31	R02	R03			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
市街地整備事業	A13-019	都市防災	一般	さいたま市	直接	さいたま市	-	-	都市防災総合推進事業 災害危険度判定調査、住民等のまちづくり活動支援	災害危険度判定調査、住民等のまちづくり活動支援	さいたま市						24	-	
	A13-020	都市防災	一般	さいたま市	直接	さいたま市	-	-	都市防災総合推進事業 地区公共施設等整備	防災活動拠点の整備(公園整備)	さいたま市							898	-
										小計							922		
											合計							3,588	

C 効果促進事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H29	H30	H31	R02	R03				
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
市街地整備事業	C13-001	都市防災	一般	さいたま市	直接	さいたま市	-	-	都市防災総合推進事業	さいたま市防災都市づくり計画総合評価	さいたま市						1	-		
		都市防災総合推進事業と併せて、現状を鑑みた住環境改善の推進を図る。																		
											小計						1			
											合計						1			

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
さいたま市公共事業評価審議会	令和6年1月
	公表の方法
	さいたま市ホームページにて公表

事業効果の発現状況

<p>定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況</p>	<p>市内の交通事故件数については、歩道整備やゾーン30整備等の生活道路の交通安全対策を実施したことにより、40%低減し、目標を達成した。また、橋梁の耐震補強については、計画的に実施し、最終目標値の82%を達成した。また、災害リスクの周知については、都市防災総合推進事業（災害危険度判定調査）により、市内の延焼リスクと避難困難リスクの変化を継続的にモニタリングするだけでなく、調査結果を用いてWebGISのデータを作成し、市HPにおいて「防災まちづくり情報マップ」として市民に広く災害リスクを周知することができた。また、都市防災総合推進事業（住民等のまちづくり活動支援）により、1自治会において防災まちづくりに係る勉強会やまち歩きを継続的に実施し、その成果として災害リスクの改善方を盛り込んだ地区の防災まちづくり方針を取りまとめ、当該自治会に加入する全世帯（約460世帯）に配布して、地区住民の防災意識の向上を図ることができた。</p>
<p>定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）</p>	<p>都市防災総合推進事業（地区公共施設等整備）を活用し、災害リスクの高い地区において防災活動の拠点となる公園を整備するための用地（1.4ha）を取得した。</p>

特記事項（今後の方針等）

・交安事業については、安心して安全な生活空間の確保のため、引き続き国土交通省所管の個別補助事業又は社会資本総合整備交付金を活用し、整備推進に努める。
 ・橋梁の耐震化事業については、国土強靱化のための5か年加速化対策においても対策内容として掲げられていることから引き続き国土交通省所管の個別補助事業を活用し、引き続き整備推進に努める。
 ・今後も都市防災総合推進事業（災害危険度判定調査、住民等のまちづくり活動支援）を活用し、把握した災害リスク情報の周知啓発活動を行うとともに、災害リスクの高い地区の住民に対するまちづくり活動支援を行うなど、災害リスクの改善に繋がる取組を継続して実施していく。

目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因	
1	最終目標値	10%	最終目標値を達成した。なお、最終目標値を大幅に上回る結果となった要因として、新型コロナウイルス感染症の拡大により、人々の生活様式に変更が生じ、人の移動の機会が減少したことや、本計画の要素事業以外による交通安全対策効果が影響したものと考えられる。
	最終実績値	40%	
2	最終目標値	82%	
	最終実績値	82%	
3	最終目標値	47%	災害リスクが高い地区にある66の自治会の内、約9割に当たる60自治会に対して説明会（出前講座）を実施し、災害リスクの周知を図ることはできたが、当初の想定よりも説明会への参加者が少なかったことや、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により周知活動に制約があったことなどが要因と考えられる。
	最終実績値	11%	